

項目	内容
総合的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 因果関係がわかる詳細な本文と豊富な図表・写真により、地理的な見方・考え方を働かせた学習ができるようになっている。 ・ ロシアによるウクライナ侵攻や中東情勢をはじめとする各地の最新の動向が豊富に記載され、現代世界への地理的な理解を深められるようになっている。 ・ 日本の強みや課題が随所に掲載され、持続可能な日本の国土像を探究できるようになっている。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3部で将来の日本の国土像を探究できるよう、1部と2部では最新の世界情勢や学術動向が記述され、現代世界の地理的事象や諸地域を深く理解できるようになっている。 ・ 1部の系統地理单元では、豊富な事例と因果関係がわかる本文により、内容を体系的に整理しやすくなっている。 ・ 系統地理の「資源と産業」单元では、冒頭に産業全体に関わる概論ページが新設され、産業構造の変化や全体を貫く視点を認識できるようになっている。 ・ 2部の地誌单元は、自然環境や歴史的背景を踏まえた記述により、地域理解を深められるようになっている。 ・ 系統地理单元では日本の事例を、地誌单元では日本と世界との関わりが豊富に取り上げられ、日本と世界の比較・対照を通して現代世界への理解を深められるようになっている。 ・ 特設ページ「探究力UP」では、資料読解や国土像探究に向けた活動を通して、主体的・対話的な学びができるようになっている。 ・ 日本の諸課題の解決の方向性や、将来の国土と社会のあり方を構想するための具体的な課題探究の取り組みが提示されている。
構成・分量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習指導要領に沿って重要事項が適切に解説され、知識を確実に定着できるようになっている。 ・ 世界の諸地域が偏りなく取り上げられ、幅広い学習が可能となっている。 ・ 学習を見通す「節の主題」や「学習課題」、学習内容を振り返る「節の振り返り」や「確認・説明」「探究」といった問いが設けられ、学習内容を整理しながら深められる構成になっている。 ・ 写真や図には「読み解き」で着眼点が示され、地理的な特徴をとらえる力が養われるようになっている。 ・ 「SKILL」ページが豊富に設置され、地理学習に必要な地理的技能を身につけられるようになっている。 ・ 「深める」「地域を見る目」「持続可能な社会を目指して」などのコラムが随所に設けられ、学習内容を深め、多面的・多角的な視点が養われるようになっている。 ・ 「地図帳活用」のコーナーがほぼすべての本文ページに設けられ、地図帳の活用を通して、学習内容を確認し、深められるようになっている。
表記・表現及び使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・ 背景や因果関係までわかる詳細な本文記述により、現代世界の地理的事象や諸地域を深く理解できるようになっている。 ・ ふりがなや重要語句へのゴシック（太字）も効果的に振られている。 ・ 地図・グラフ・写真などの資料が豊富に設けられており、生徒がみずからの力で地理的事象の傾向を読み取り、視覚的に理解できるようになっている。また、グラフなどの統計資料には、新しいデ

	<p>ータが使用されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本文には関連図版・写真の図番号が示されており、資料の活用を促す工夫がなされている。また、本文内容を補足する用語解説が数多く設置されており、理解を助ける工夫がなされている。 ・ 本文行間には、関連する事項が扱われている箇所への参照ページが割り当てられ、教科書を横断的に活用する工夫がなされている。
<p>ユニバーサルデザインへの対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本文や側注、キャプションなどの文字には、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォント（UDフォント）が使用され、誤読を防ぐ配慮がなされている。 ・ カラーユニバーサルデザインを採用し、色覚特性のある学習者にも読み取りやすい表現になっている。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 紙は環境に配慮し、かつ裏写りがしない用紙が使用されている。 ・ インキには、再生産が可能な植物由来の油などを原料とするインキが使用されている。 ・ 使用期間の間、破損することがないように、堅牢なつくりになっている。 ・ 指導資料や準拠ノートなど、充実した関連教材が用意されている。